

令和5年度(2023年度)放課後等デイサービス事業所における自己評価

公表:令和6年3月1日

事業所名 「すごろくクラブ」・「ドリーム&ホープ」

令和6年(2024年)1月実施(回答:職員10名中9名)

		チェック項目	はい	どちらとも えない	いいえ	:
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	3	1	・外遊びを主にして室内にいる時間は短い ・長期学校休業時受け入れ人数が多いと少し狭く感じる ・一日見ると定員を超える日がある
	2	職員の配置数は適切である	2	1	6	・人員基準は満たしているが国が求める支援(遊びや自然とのふれあひ)の質向上の為に職員不足。しかし国に報酬を上げる気がなさそうなので雇用が困難な状態 ・現状充分とは言えない。もう少し人員が欲しい ・人員基準は満たしているが児童に支援を行き届かせる為に職員不足 ・職員不足のため自由に有休が取れない ・必要最低限(人員配置上)の人数でゆとりがない
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	5		・借家なので改造は難しいが1回に段差はほぼない(ドリーム&ホープ) ・階段一段ずつに滑り止めを設置(ドリーム&ホープ) ・玄関に階段がある(すごろくクラブ) ・車いすの利用者など特別支援が必要な利用者がいない
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	3	1	・明確なPDCAサイクルはないがほぼ全職員参加のMTで改善点を話し合っている ・各事業所で振り返りを毎日実施。週2回職員MTを開催し話し合っている ・全体MTや常勤MTで話し合いを実施している
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	1	1	・保護者評価は行っているが業務改善に充てる余裕がない(国は支援の質向上を求めるが報酬は引下げ方向としか思えないので評価の分析等を行う余力がない) ・業務改善を行える点については行っている ・公表時などに振り返りが行われるが実施までは不明
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	1		・ホームページで公開している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			9	・実施していない
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8		1	・主に事業所内で研修を行っている ・MT中に研修を行ったりあいち児童発達連絡会の研修等に参加している ・研修には積極的に参加している ・研修への参加はなどは積極的だが支援に行かせるものが少ない
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8		1	・ミーティング時に計画について話し合いを行っている。ただ、計画作成の意義は理解できるが報酬は引下げ方向なのに支援の質を求められるのは負担でしかない ・主体的に関わっている職員が計画案の作成に携わっている ・支援計画を半年ごとに作成し実施している
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	1	3	5	・TEACCH等の標準化されたツールは使用していない ・入所時のアセスメント以外で再度把握等は職員個人レベルでしか行われていない
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1	3	・活動は担当職員が決めることが多い。担当を分散するkとで児童の活動範囲に合わせた活動をしやすくなった ・事業所のMTを毎日実施している ・個別活動が多く担当単位で立案・実施している
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	1	2	・担当する児童が活動したい内容になるべくそうようにしている ・毎回同じ場所にならないように工夫している ・固定化は望ましくないがそれしか行わない児童等への対応が単一的なことがある
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	1	2	・支援計画内で設定をしている ・長期学校休業中は遠方に行けるように工夫している ・長期学校休業中は家庭では中々いけな、やらない体験に挑戦しようと行先や活動を考えている ・課題への意識は低いこともある
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	1	1	・支援計画の作成している
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	2	1	・MTには家庭事情で参加できないが出勤時やLINEで連絡を取合っている ・学校に迎えに行く前に各事業所で毎日行っている ・毎日事業所でMTを行っている ・昼休憩後にMTをするが長期休み時は設定できていない
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1	4	・MTには家庭事情で参加できないが出勤時やLINEで連絡を取り合っている ・当日はできないので翌日に行っている ・早く学校迎えに行く必要がある職員は途中で抜けるを得ないがその日の活動や前日の反省・気になる点を話し合っている ・自宅送り後には帰宅している職員もいて全体共有までは至っていない
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	3	1	・何かあった場合はデイ記録用紙に細かく記載している ・当日に賭けないことが通常になっている ・記録の正確性については追及しているが記録の記入が追いつかない
18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	1	1	・半年に一回行っている ・支援計画により実施している ・計画更新時以外でモニタリングの機会はありません	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5	3	1	・普段の活動時にそこまで意識している余裕はない	
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	1		・サービス担当者会議出席の要請があった場合は担当者を参画させている ・よく担当している職員が参画している ・決まった人が行くことが多い	

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>下校時刻等は保護者を通じて入手することが多い</li> <li>保護者と電話やメールでやり取りを行っている</li> <li>保護者を通して年間行事予定を確認している</li> <li>学校迎え時に担任から様子を聞く</li> <li>連絡事項は都度確認している</li> </ul>
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療的ケアが必要な児童の受入れをしていない</li> </ul>
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>余程必要性が感じられれば就学前サービス等との情報共有を考慮するが現実的には人的・時間的余裕はない(報酬下げ方向で求めないでほしい)</li> <li>必要と感じられた児童の様子を実際に保育所を訪問し見学したことはある</li> <li>保護者を通して保育園での様子などを聞き取りしている</li> </ul>
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	2	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>要請されれば情報提供を行う</li> <li>実際に事業所を訪問し情報を提供してことがある</li> <li>学校を通して就労していることが多く事業所間で密に連絡を取ることは減多にない</li> </ul>
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	3	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>今まで数度助言を受けたことはあるが定期的ではない</li> <li>障がい児事業所連絡会内で行っている</li> <li>年に数回程度は機会があるがそれが該当するか分らない</li> </ul>
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	2	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園であった健全児と活動することはあるが決まった機会ではない。放課後児童クラブとの交流はないし余裕も余力もない</li> <li>外出先で障がいのない子と一緒に遊ぶことがある</li> <li>公園の同じ空間で障がいのない子たちと遊ぶことがある</li> <li>すごろくクラブ藤嶋の発案で少しずつ実施できている</li> </ul>
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	1	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加する余裕も余力もない</li> <li>特定のスタッフが参加しているものだと思うが不明</li> </ul>
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>連絡帳によるやり取りが主であるが、必要に応じて電話や対面で話をする</li> <li>連絡帳でのやり取りや自宅送迎時に伝え合っている</li> <li>連絡帳に細かく記入して下さる保護者とは情報共有ができています</li> <li>保護者との連絡は密にとっている</li> </ul>
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		3	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>そんな余裕も余力もない</li> <li>保護者側からの要請・相談があまりない</li> </ul>
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			<ul style="list-style-type: none"> <li>利用開始時の面談で説明している</li> <li>なるべく不安や不明な点が無くなるように務めている</li> </ul>
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			<ul style="list-style-type: none"> <li>相談された場合に対応している</li> <li>相談があった場合に直接話をしたり連絡帳でやり取りしたりしている</li> <li>連絡帳で伝えたり内容によっては電話等で直接伝えるようにしている</li> <li>未熟ながらも助けになれるように務めている</li> </ul>
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者会はあるがコロナ感染症流行以降活動が縮小した</li> <li>保護者会の企画で催しを行っている</li> <li>一部ではある</li> <li>前年度よりは活動が増えた</li> </ul>
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>苦情があった場合迅速に対応している。その後問題が広がっていないようである</li> <li>職員会議を開催して対応している</li> <li>共有・対処に関して迅速に対応できている</li> </ul>
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	1	1	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>会報を発行できるほど人的・時間的余裕はない</li> <li>横田さんの退職後は定期的な会報発行はない</li> </ul>
	35	個人情報に十分注意している	8			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>齟齬や勘違いがないように努めている</li> </ul>
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		2	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>人的にも時間的にも余裕はない</li> <li>近隣住人への周知・理解などはあまりよくない</li> </ul>
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	3	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>非常災害計画等複数の計画は作成し職員に配布をしているが保護者には内容を周知していない</li> <li>職員間での周知は行いが保護者へはしていないように見える</li> </ul>
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	2	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>洪水時を想定した避難訓練は行っている。地震・火災に関する避難訓練はやり切れていない</li> <li>年に一回行っている</li> </ul>
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>虐待防止委員会を年に一度開催。その他虐待防止に関する研修を年に二度程度行っている</li> <li>研修を定期的に行っている</li> </ul>
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	1	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>デイサービス計画に身体拘束を記載する必要性を現状では感じていない</li> <li>計画書に記載している児童が現在いない</li> </ul>
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>医師の指示書が必要なアレルギー症状の強い利用者が現状はいない</li> <li>アレルギー検査結果表を保護者からいただいて職員に周知している</li> <li>おやつなど口に入るものの確認はしている</li> </ul>
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	3	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒヤリハット事例集は作成しているが全てのヒヤリハットを事例を保存出来ていない</li> <li>全体共有していない事項もある</li> </ul>	